

令和元年に向けて本格始動！
変化の激しい未来を多角的に予測し発信する
「超長期戦略時代のサポーター」としてのシンクタンク発足

ディー・フォー・ディー・アール株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:藤元健太郎、以下 D4DR)は、2019年4月10日(水)、これまで携わった様々なプロジェクトを通じて蓄えた知見をもとに、超長期的な未来と短期的な現在を遠近両面で見通すシンクタンク部門「Future Perspective Research Center」(以下 FPRC)を発足した記念にキックオフイベントを開催しました。

◆Future Perspective Research Center 詳細ページ

<https://www.d4dr.jp/fprc/>



◆FPRC 活動内容

FPRC は、未来社会を洞察し、実現可能な方法とともに遠近両面からの未来予想図を描き、発信し、自分事化します。

私たちは未来を創る方々のサポーターです。ワークショップや多方面の有識者とのブレストなどの方法論を通じて、クライアントのビジネスに取り巻く未来について一緒に考えます。新規事業のアイデア創出や、そのアイデアの実現までをプロジェクトとしてプロデュースします。

◆キックオフイベント概要

日時：2019年4月10日(水) 15:00~19:00 (会場: Nagatacho GRiD)

参加人数：147名

ゲスト：村上敬亮氏(内閣府 地方創生推進事務局 審議官)*1

日高洋祐氏(MaaS Tech Japan 代表取締役)*2

タイトル：「令和の社会を語ろう！～私たちの未来のあるべき姿～」

メーカー、シンクタンク、キャリア、メディアなど多様なジャンルの業種から、新規事業部門だけにとどまらず幅広いご所属の参加者147名と、ゲストスピーカーの村上敬亮氏、日高洋祐氏とともに、活発に未来を語りました。代表の藤元は「参加者の方々と意見交換をさせてもらう中でも、多くの企業にとって『未来に意志を持つこと』の重要性が確実に高まっていることを実感し、FPRCの活動がより広く貢献できることを実感した。皆様と一緒に令和の未来を創造していきたい！」と決意を新たに、明るい未来を見通すことになったキックオフイベントは盛況のうちに終了しました。

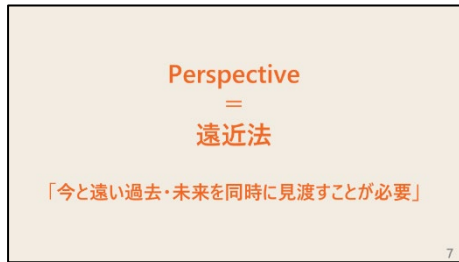
(D4DRの新シンクタンクの詳細を発表したスライド抜粋は次頁に掲載)

◆代表藤元の設立に際する思い

様々な技術革新が進み、1年で社会の様子が激変する可能性を秘めた現代は、3カ年計画・中期戦略を立てることが難しい時代になっています。そのため、今こそ「超長期戦略時代のサポーター」が必要ではないか、と考えました。

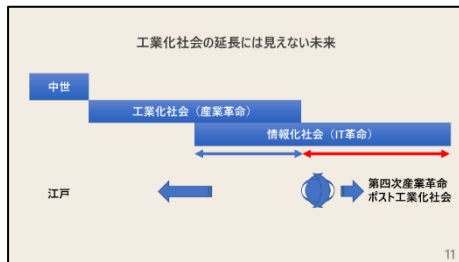
10年、20年先のビジネスを共に描き、創造するパートナー。新しいシンクタンクでもある Future Perspective Research Center の役割がそこにあるのではないかと考えます。

◆未来のヒントは遠い過去にある？



自動車が普及し始めたのは110年ほど前。現在はその姿に少し変化はありますが、エンジン/タイヤ/ハンドルがある、などの構造は大きく変わっていません。自動運転車の構想は、運転席がない、運転の必要がない=近代より前の馬車の発想に近いのではないかと考えます。工業化社会として発展を遂げてきた100年ほど前のことを比較するだけでは、これからの未来は語れないのです。

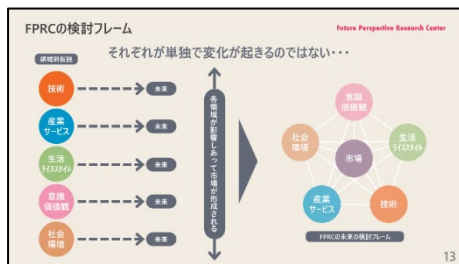
◆未来を見通すには何が必要？



現在の情報化社会は、近代の工業化社会が発展して生まれたものです。第四次産業革命でこれから起こり得る未来は、ポスト工業化社会。近い過去や近い未来だけを見ていたのでは、想像のつかない社会です。近代よりも前、中世から現在、未来まで見渡し、多角的に予測を立てることが必要になります。

◆FPRC の検討フレーム

未来社会を考えるときに、時間軸を遠い過去から未来までを同時に見渡すのであれば、自分が関連する領域の未来を見るときも、単体で見るのではなく、他領域を同時に見渡す必要があります。すべての領域が複雑に絡み合い市場を形成している以上、他の分野の動向を



が無視するわけにいかないことは当然です。しかし、他領域のことは中々自分たちだけで深く知ることは難しい。そこで FPRC のような、多領域にまたがり、遠近両面から社会を見渡す我々のようなシンクタンクがサポートに入ることによって、個々の未来戦略は、より実現可能なものに近づきます。

◆キックオフイベントゲストスピーカーより FPRC へのコメント

村上敬亮氏 (内閣府 地方創生推進事務局 審議官)

「課題解決とマーケットをつなぐリーダーだと思っていますので、積極的に活動をしていただくとことを期待しています。」

日高洋祐氏 (MaaS Tech Japan 代表取締役)

「多領域にまたがった未来を見通すのは、FPRC の特徴なので、モビリティ業界だけでは描ききれない未来を、FPRC と一緒に創り上げられることを期待しています。」

◆D4DR がこれまでに蓄えた知見をホームページで公開中

D4DR はテクノロジーの進化とその発展を研究し、様々な分野についての「未来」を予測しています。その活動が、このたびの FPRC 発足につながりました。

新規事業を考える方や、アイデア出しに煮詰まってしまった方には特におすすめのコンテンツとして、D4DR (FPRC) の未来予測を分野ごとに整理し公開しています。

https://www.d4dr.jp/dl/fprc_download/

*1 村上氏プロフィール：1990 年、通商産業省入省。湾岸危機対応、地球温暖化防止条約交渉、PL 法立法作業などに従事。その後、10 年にわたって、官の立場からインターネット普及期の IT 政策に携わり、著作権条約交渉、e-Japan 戦略の立案などに従事。その後、クールジャパン戦略の立ち上げ、地球温暖化防止条約の国際交渉 (COP15 と COP16)、再生可能エネルギーの固定価格買取制度の立ち上げなどを担当し、2014 年から地方創生業務に着任。2017 年から、国家戦略特区担当。

*2 日高氏プロフィール：2005 年、鉄道会社に入社。ICT を活用したスマートフォンアプリの開発や公共交通連携プロジェクト、モビリティ戦略策定などの業務に従事。現在は、MaaS Tech Japan を立ち上げ、MaaS プラットフォーム事業などを行う。国内外の MaaS プレイヤーと積極的に交流し、日本国内での価値ある MaaS の実現を目指す。

【会社概要】

商号：ディー・フォー・ディー・アール株式会社 (D4DR inc.)

代表者：代表取締役社長 藤元健太郎

所在地：(本社) 〒108-0073 東京都港区三田 1-6-7 WATANABE ビル 2 階

(札幌リサーチセンター) 〒060-0002 北海道札幌市中央区北 2 条西 2-32

設立：2002 年 4 月 17 日

事業内容：1. 新事業イノベーション

未来シナリオ創発、新規事業の創発、新商品・新サービスの企画開発

2. マーケティング戦略&施策立案

顧客起点型のマーケティング戦略の構築、マーケティング施策立案／実行支援

3. 観察と可視化

行動データ分析、ソーシャルメディア分析、企業調査・事例調査、生活者インサイト分析、

有識者インタビュー・ブレスト、IoT・AI データ分析

4. その他

IT 分野におけるコンソーシアム、各種委員会のプロデュース、事務局支援

資本金：2,000 万円

URL：<https://www.d4dr.jp/>

■ 本件に関する報道・一般の方のお問い合わせ先

ディー・フォー・ディー・アール株式会社 担当：牟田

〒108-0073 東京都港区三田 1-6-7 WATANABE ビル 2 階

e-mail：fprc@d4dr.jp TEL：03-3457-8646